



門川町次期衛生センター建設に伴う 生活環境影響調査（概要版）

生活環境影響調査は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」第9条の3第1項に規定する調査であり、し尿処理施設の稼働が周辺地域の生活環境に与える影響について事前に調査・予測・評価し、事業の実施にあたって周辺の生活環境への影響を及ぼさないよう適切に環境保全措置を講じることを目的とするものです。

◆事業計画の概要

項目	事業計画の概要
設置者	門川町長 山室 浩二
施設の設置場所	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末 2998-1(登記簿表記：2972-1 他)
施設の種類	し尿処理施設
廃棄物の種類	し尿、浄化槽汚泥、漁業集落排水汚泥
処理能力	23 kL/日（し尿：1kL/日、浄化槽汚泥：22kL/日）
処理方式等	水処理方式：前脱水処理、生物学的脱窒素処理、高度処理、資源化方式：助燃剤化
工事着工予定	令和6年度
供用開始予定	令和9年度

区分	環境保全措置の概要
大気質	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬車両には、排出ガス規制適合車を使用します。 収集運搬車両の走行にあたっては、法定速度を順守します。 収集運搬車両の走行に際しては、急発進・急ブレーキや空ぶかしがないように努めるとともに、アイドリングストップを励行します。 特定の時間帯に収集運搬車両の通行が集中しないよう調整を図ります。
騒音	<ul style="list-style-type: none"> 騒音が発生する機械設備は、騒音の少ない機種（低騒音型、超低騒音型）を選定します。 設備には防音カバー、消音器を取り付ける等、必要に応じて防音対策を施した構造とします。 大きな騒音が発生する機器については、防音効果のある室内に設置します。 施設の適正な運転管理を行うことで、過負荷運転を避け、騒音の発生防止に努めます。 設備機器の定期的な保守点検を実施することで、設備不良等による異音の発生を防止します。
振動	<ul style="list-style-type: none"> 振動が発生する機械設備は、振動の伝播を防止する基礎構造にするとともに、必要に応じて防振装置を設けます。 振動が発生する機械設備は、低振動型の機種を選定します。 大きな振動が発生する機器については、防振効果のある室内に設置します。 施設の適正な運転管理を行うことで、過負荷運転を避け、振動の発生防止に努めます。 設備機器の定期的な保守点検を実施することで、設備不良等によるかたつきの発生を防止します。
悪臭	<ul style="list-style-type: none"> 発生臭気を高濃度、中濃度、低濃度に区分し、これに見合った捕集方法で適切な脱臭装置へ導きます。 施設から発生する臭気は、各工程からの捕集後、脱臭装置を用いて適切に処理し、ほとんど環境影響を与えないレベルにまで悪臭物質を低減します。 臭気の発生が想定される処理設備は密閉し、臭気の漏洩を防ぎます。 各種点検作業時には、点検開口時に臭気が漏洩しないように十分な捕集能力を確保します。 脱臭装置の適切な点検、整備を実施し、処理能力の維持に努めます。
水質	<ul style="list-style-type: none"> 施設の処理水質については、施設の適正な運転管理を行うことで、関係法令や公害防止基準値を満足した水質レベルとします。 放流の際には、流量調節できるよう計画し、日間において変動がなく定量的に安定的に送水します。

お問い合わせ

門川町役場 環境水道課 衛生センター建設係
〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号
TEL：0982-63-1140 FAX：0982-63-1356
E-mail：ei-sei@town.kadogawa.lg.jp

◆生活環境影響調査項目の選定

生活環境影響調査の項目については、廃棄物処理施設生活環境影響調査指針において示されている「し尿処理施設」に関する項目の全てを選定しました。

調査項目	生活環境影響要因	生活環境影響調査項目	施設からの処理水の放流	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	運搬車両の走行
大気環境	大気質	二酸化窒素(NO ₂)				○
		浮遊粒子状物質(SPM)				○
	騒音	騒音レベル		○		○
		振動レベル		○		○
水環境	水質	特定悪臭物質濃度 又は臭気指数(臭気濃度)			○	
		生物化学的酸素要求量(BOD) 又は化学的酸素要求量(COD)	○			
		浮遊物質(SS)	○			
		その他必要な項目	○			

出典) 廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(平成18年9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部)

◆現地調査地点および調査項目

現地調査は、以下の地図に示す地点で実施しました。

調査項目：大気質、騒音、振動（交通量調査）

調査項目：騒音、振動（交通量調査）

調査項目：騒音、振動、悪臭

調査項目：騒音、振動、悪臭

調査項目：騒音、振動、悪臭

調査項目：水質

■事業計画地の位置と現地調査地点

【調査期間】

大気質：令和5年2月15日(水)～21日(火) 悪臭：令和5年7月20日(木)
騒音、振動(交通量)：令和5年3月15日(水)～16日(木) 水質：令和5年2月15日(水)

◆生活環境影響調査結果（現況）、予測および影響の分析

現地調査結果（現況）の概要、各調査事項に関する予測および影響の分析結果は以下のとおりです。

大気質

現 況				予測および影響の分析			
二酸化窒素（NO ₂ ）、浮遊粒子状物質（SPM）は調査期間を通して、環境基準を満足していました。 【調査結果】 <五十鈴地区営農集会施設>				し尿等の収集運搬車両による大気質への影響は、実行可能な範囲で回避または低減されるとともに、生活環境保全上の目標も満足しています。 【予測結果】			
調査項目	単位	調査中の最大値	環境基準	調査項目	単位	予測値	目標値
NO ₂	ppm	0.003	0.04～0.06 以下	NO ₂	ppm	0.003	0.04 以下
SPM	mg/m ³	0.018	0.1 以下	SPM	mg/m ³	0.018	0.1 以下
		0.034	0.2 以下			0.018	0.1 以下
<シルバー人材センター>							
調査項目	単位	調査中の最大値	環境基準				
NO ₂	ppm	0.003	0.04～0.06 以下				
SPM	mg/m ³	0.016	0.1 以下				
		0.028	0.2 以下				

※二酸化窒素は日平均値、浮遊粒子状物質は上段：日平均値、下段：1時間値

騒音

現 況			予測および影響の分析		
事業計画地、周辺環境および収集運搬車両の走行する沿道における騒音は、いずれも各種基準値を満足していました。なお、感知された騒音は周辺環境に由来する車の走行音等です。 【調査結果：環境騒音】単位：dB <事業計画地>			計画施設の稼働、並びにし尿等の収集運搬車両の走行による騒音は、実行可能な範囲で回避または低減されるとともに、生活環境保全上の目標も満足しています。 【予測結果：施設の稼働】単位：dB <至近の生活環境（直近住居付近）>		
時間区分	騒音レベル	各種基準値	時間区分	予測値	目標値
朝	46	50 以下	昼	50	55 以下
昼	50	55 以下	夜	42	45 以下
夕	44	50 以下	【予測結果：収集運搬車両の走行】単位：dB <国道 388 号（五十鈴地区営農集会施設）>		
夜	40	45 以下	時間区分	予測値	目標値
<直近住居付近>			昼	62	70 以下
時間区分	騒音レベル	各種基準値	<搬入経路（搬入経路沿い住居周辺）>		
昼	50	55 以下*	時間区分	予測値	目標値
夜	42	45 以下*	昼	56	60 以下

※事業計画地（門川町衛生センター）は騒音規制法による規制基準と比較しました。直近住居付近は基準値が設定されていないため、参考として環境基準（道路に面する地域以外の地域：A 及び B 類型）と比較しました。
 【調査結果：交通騒音】単位：dB
 <五十鈴地区営農集会施設>

時間区分	騒音レベル	各種基準値
昼	62	70 以下

<搬入経路沿い住居周辺>

時間区分	騒音レベル	各種基準値
昼	56	60 以下*

※五十鈴地区営農集会施設は環境基準と比較しました。搬入経路沿い住居周辺は基準値が設定されていないため、参考として環境基準（道路に面する地域：A 類型）と比較しました。

振動

現 況			予測および影響の分析		
事業計画地、周辺環境および収集運搬車両の走行する沿道における振動は、いずれも各種基準を満足していました。 【調査結果：環境振動】単位：dB <事業計画地（門川町衛生センター）>			計画施設の稼働、並びにし尿等の収集運搬車両の走行による振動は、実行可能な範囲で回避または低減されるとともに、生活環境保全上の目標も満足しています。 【予測結果：施設の稼働】単位：dB <至近の生活環境（直近住居付近）>		
時間区分	振動レベル	各種基準値	時間区分	予測値	目標値
昼	29	65 以下*	昼	38	55 以下
夜	25 未満	60 以下*	夜	34	55 以下
<直近住居付近>			【予測結果：収集運搬車両の走行】単位：dB <国道 388 号（五十鈴地区営農集会施設）>		
時間区分	振動レベル	各種基準値	時間区分	予測値	目標値
昼	25 未満	65 以下*	昼	35	65 以下
夜	25 未満	60 以下*	<搬入経路（搬入経路沿い住居周辺）>		
【調査結果：交通振動】単位：dB <五十鈴地区営農集会施設>			時間区分	予測値	目標値
時間区分	振動レベル	各種基準値	昼	29	65 以下
昼	35	65 以下*			
夜	25 未満	60 以下*			
<搬入経路沿い住居周辺>			時間区分	予測値	目標値
時間区分	振動レベル	各種基準値	昼	29	65 以下
昼	25 未満	65 以下*			
夜	25 未満	60 以下*			

※各調査地点には基準値が設定されていないため、参考として振動規制法における基準値と比較しました。

悪臭

現 況			予測および影響の分析		
事業計画地および周辺環境における悪臭は、特に強いにおいは感知されず、いずれも基準を満足していました。 【調査結果】 <事業計画地（門川町衛生センター）>			計画施設の稼働による悪臭は、実行可能な範囲で回避または低減されるとともに、生活環境保全上の目標も満足しています。 【予測結果】 <至近の生活環境（直近住居付近）>		
項目	調査結果	規制基準値	項目	予測値	目標値
臭気指数	10 未満	18*	特定悪臭物質	現況と同程度	規制基準値
特定悪臭物質	規制基準値以下	C 区域			
<直近住居付近>					
項目	調査結果	規制基準値			
臭気指数	10 未満	18*			
特定悪臭物質	規制基準値以下	C 区域			

※門川町での悪臭規制は特定悪臭物質によります。臭気指数による規制はなされていませんが、参考として宮崎市における基準と比較しました。

水質

現 況			予測および影響の分析		
施設処理水の放流先河川（府内川）の放流点の上流、下流における水質は、いずれも基準を満足していました。 【調査結果】 <府内川上流>			計画施設の処理水による河川への影響は、実行可能な範囲で回避または低減されるとともに、生活環境保全上の目標も満足しています。 【予測結果】 <府内川>		
項目	調査結果	環境基準値	項目	予測値	目標値
pH、BOD、SS 等	環境基準値以下	河川 A 類型*	BOD	1.0	2 以下
<府内川下流>			SS	2	25 以下
項目	調査結果	環境基準値	※予測値は、予測条件のうち最も放流量が多い現行施設計画値（400 m ³ /日）による予測結果です。		
pH、BOD、SS 等	環境基準値以下	河川 A 類型*			

※府内川は、放流地点の下流で五十鈴川と合流することから、参考として五十鈴川における環境基準と比較しました。

◆総合評価

門川町次期衛生センターの整備に伴い、事業が周辺の生活環境に与える影響を調査した結果、いずれの項目についても、事業による周辺環境への影響は少ないものと判断されました。よって、本事業の実施に伴う周辺地域の生活環境への影響は、総合的に見て最小化されていると評価しました。